

令和3年度 さいたま市立上大久保中学校 自己評価書

校長 堀田 明良 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 学校教育目標…「温かい学校 感動あふれる学校」
- (2) 目指す学校像 ○時を守る ○場を清める ○礼を正す
- (3) 学校経営方針 ◎全教職員の温かさとチームワークをもって、感動あふれる学校づくりを目指す  
○厳しさと温かさをもって、一人ひとりの生徒を大切にした教育を展開する。  
○教職員一人ひとりの創意工夫を生かし、力のある生徒の育成、力のある学校づくりをすすめる。  
力のある生徒：・人として生きていくための力(確かな学力、豊かな心、健康・体力)…**Grit**  
・知・徳・体・コミュニケーションのバランスの取れた力…**Global**  
力のある学校：・教職員の力(授業力・指導力・チーム力)・家庭、地域、関係機関との連携力  
・生徒が生き生きと学習できる潤いと落ち着きのある環境づくりに努める。…**Growth**  
・生徒、教職員、保護者、地域の連携を密にし、地域に根ざした学校づくりをすすめる。
- (4) 本年度の指導の重点
  - 基礎学力の定着：基礎的・基本的事項の習得、家庭学習の定着  
・日常的なワーク、ノートのチェック、SMD等の小テストや単元テストの実施、授業の中に「振り返りの時間」を設定し、基礎学力の定着に努めた。
  - ・さいたま市教育委員会研究委嘱「読解力向上」の授業研究を進めた。
  - 信頼関係を基盤とした積極的な生徒理解、生徒指導、教育相談  
・温かさをもって接することを基盤とし、コミュニケーションの充実を図った。
  - ・あいさつ活動の充実、学校・学年行事への積極的な取組、いじめ対策、「連絡・報告・相談・見届け・確認」の徹底、情報の共有化、迅速な対応、複数対応の徹底を行った。
  - 温かな心の育成：学級活動、「特別の教科 道徳」の時間の充実  
・道徳担当を中心とし、話し合い活動を充実させた道徳の授業の展開を図った。
  - ・未来くる先生ふれ愛推進講演会及び学校保健講演会を実施した。
  - リーダーの育成  
・学校・学年行事での、生徒を中心とした活動の事前指導・準備及び、見届け、評価を行った。
  - 安全教育の推進  
・各種災害に対応した避難訓練の実施、引き渡し・集団下校訓練の実施、安全点検を実施した。
  - 清掃活動(清掃指導)の充実  
・清掃分担、監督、手順の徹底及び見届け 用具の整備を行った。
  - 学校における働き方改革  
・ICT等の教育機器を整備し、授業準備に係る時間の削減を図った。また、毎月の在校時間を各自が把握することにより、超過時間の減少に努めた。

2 評価結果について

- 生徒アンケートにおいて、「学校生活が楽しい」「まわりの人たちに温かく接することができている」という項目において、肯定的な意見が昨年度よりも上回った。コロナ禍でさまざまな制約等がある中、道徳教育などを推進してきた成果が出ていると思われる。
- 保護者アンケートにおいて、「開かれた学校づくりをすすめている」という項目では、昨年度より11ポイント減少した。これは、コロナ禍で保護者会や学校公開を行うことができなかつたためと考える。学校日よりや学校ホームページにて、学校の様子を伝えるなど開かれた学校づくりを進めていく。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- (1) 生徒指導及び教育相談に関しては、温かさ(厳しさも含む)のある対応、スピード感のある対応を継続する。また、専門機関との更なる連携を目指し、迅速な解決を目指す。
- (2) 特別活動、生徒会活動、清掃活動、給食指導に関しては、担当教員を中心に、指導の方向性を再確認し、生徒の手で活動が組織的に行われるよう、学校全体で支援していく。
- (3) 生徒の基礎学力の向上に向けて、新学習指導要領を鑑み、生徒が習得した知識や技能を活用する場面


を授業の中で意図的に設けられるよう、教員の指導力の向上を図る。  
生徒の興味・関心を高める授業づくりと教職員研修の充実し、引き続き、教職員が互いに授業を見合う。

- (4) 清掃分担、監督、手順及び見届け徹底、用具を整備する等、清掃活動(清掃指導)の充実を図る。
- (5) 読解力向上の研究については、生徒の実態把握をもとに、組織的に研究に取り組んでいく。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。

## 令和2年度 さいたま市立上大久保中学校 学校関係者評価書

さいたま市立上大久保中学校

学校関係者評価委員長 山崎 栄 慈 

### 1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 8人  
(学校評議員8人：内訳 自治会代表1人、育成会代表2人、民生委員1人、PTA会長1人、関係小学校長1人、関係小学校教頭1人、土曜チャレンジ代表1人)
- (2) 実施回数 1回

### 2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

#### (1) 評価できる内容

- ①生徒が落ち着いた状況が維持されていて、よい表情で授業や行事に取り組んでいる。
- ②体育祭や合唱コンクールを参観し、生徒と教職員が共に行事に一生懸命取り組んでいる様子がわかる。特に3年生の合唱コンクールでのすばらしい発表は印象的であった。
- ③行事等を通して、先生と生徒が良くコミュニケーションが取れていて、信頼関係が築かれている。

#### (2) 改善すべき内容

- ①少しずつ改善されてきているが、生徒の規範意識育成については、今後も継続して指導していく必要がある。あいさつは、もう少し生徒から進んでできるとよい。
- ②学校や生徒の様子が落ち着いている今だからこそ、さらに良くするにはどうすればよいかを、考えていく姿勢が必要である。
- ③学習面については、基礎学力の向上や、家庭学習の定着に関してはまだまだ不十分であるという結果が出ている。この点については、引き続き保護者・生徒に粘り強く話をしていく必要がある。
- ④清掃については改善の余地が見られる。

### 学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・あいさつについては、あいさつの意義や、互いの心の持ちようなどについて生徒に理解させ、進んであいさつのできる生徒を育成する。また、折に触れ、上大久保中学校のスローガンである「目に見えて、耳に聞こえて、心に響くあいさつを」を示し、浸透させる。
- ・学校や生徒が落ち着いてきて、多くの方よりお褒めの言葉をいただいたが、現状に満足することなく、中学生として、地域の一員として成長するよう指導に当たる。
- ・学習面においては、来年度も引き続き、教員の更なる指導力の向上を図り、生徒の基礎学力の向上を目指す。また、数年の課題となっている生徒の家庭学習の習慣化を図る。
- ・清掃に関しては、教職員も改善の必要性を感じており、来年度に向けて、清掃の仕方や時間等、共通理解のもとに生徒の指導に当たれるよう準備を始めている。

さいたま市立上大久保中学校長 堀田 明 良 